

外国人に日本語を教えるボランティア団体

Tachikawa International Friendship Association

## 創立 30 周年記念式典

2022年12月17日(土)、午後6時半から柴崎学習館ホールに於いて、TIFA 創立 30 周年記念式典が執り行われ、以下の式次第で進められました。

- 1、立川市民歌
- 2、木下究 TIFA 会長挨拶
- 3、来賓祝辞 田中良明 立川市副市長  
木原宏 立川市議会議長  
細江護夫 TMC 理事長  
来賓紹介 齋藤實前会長 長屋多美子元会長
- 4、受講生代表スピーチ 横山萌さん



開会アナウンスのあと、立川市民歌の映像が映し出され、記念行事が始まりました。

木下会長挨拶に続いて来賓祝辞があり、言葉の習得や文化の学びのための交流事業の大切さ、及び地域との交流の重要性などが述べられ、30年にわたる日本語教室の活動と貢献に謝意が伝えられました。また今後の更なる発展と活躍を期待しているとの温かみ溢れるお言葉を頂きました。

受講生を代表して横山萌(よこやま もえ)さんが流暢な日本語でスピーチを行い、TIFA で学んだ経験をもとに、支援を必要とする外国人のためにこれからも努力していきたいと述べられました。

なお参加者は Zoom 参加の数名を含め 80 名でした。



## イヤーエンドパーティー 2022

記念式典に続いて、イヤーエンドパーティーが開始され、次のプログラムに沿って進められました。

- 1、スライドショー：
  - TIFA10年の歩み/イヤーエンドパーティーの歩み
  - OBOGからのビデオメッセージ 5名
  - OBからの近況報告レター 1名
- 2、ボランティアと受講生のトークショー
- 3、西砂教室：ギター・ピアノ演奏とみんなで歌おう
  - 演奏は講師と受講生(国立音大学生2名を含む)
  - 曲目 「幸せなら手をたたこう」
  - 「勘太郎月夜唄」 「北国の春」



トークショーでは担当ボランティアと受講生の対話を通じて、日本での生活や母国のことなどがスクリーン上の写真で紹介されました。日頃は聞けないエピソードに笑いが起こり和やかな雰囲気でした。

プログラムの最後は西砂教室の方々による演奏と歌の共演となりました。ピアノとギターの素晴らしい演奏に合わせて、参加者全員で歌唱曲を高らかに合唱、会場全体が一挙に盛り上がりフィナーレとなりました。

コロナ禍のため運営上の制約はありましたが、楽しい記念すべきイベントとなりました。全員で後片付けを行い2023年の幸せを祈りました。



## リレーコラム 交差点

土曜教室 味香 建夫

お米の話

日本ではお米が縄文時代から栽培され、長年、日本の主食の座を守ってきましたが、その消費量が徐々に減少傾向にあります。

世界で作られているお米は大きく分類して、アジア稲、アフリカ稲、野生種の3種類です。



お米の生産量（もみの重さ）は、世界全体で7億5,547万トン（2019年の値）です。アジア稲のインディカ米（長粒種）が80%、ジャポニカ米（短粒種）が20%で、ジャバニカ米（中粒種）はインドネシアを中心に栽培されていますが、生産量は多くありません。アフリカ稲は栽培されていません。

世界で一番沢山お米がとれる国は中国で、次いでインドです。日本は11位で、1,053万トンです。中国とインドだけで世界の生産量の約半分を占めています。

お米の品種にはうるち米ともち米の2種類があります。お米のデンプンにはアミロースとアミロペクチンの2種があり、アミロペクチンの割合100%のお米がもち米です。うるち米は、おおよそアミロース2：アミロペクチン8の割合のお米です。スーパーで普通に売られているのがうるち米です。なお、アミロペクチンの含有量が多いお米ほど、炊くと粘りが強くなります。日本のお米はジャポニカ米で、アミロペクチンの含有量がインディカ米より多いため、粘りがあります。

最近、日本ではお米の新品種が次々と作られ、料理に応じた品種のお米を選択できるようになってきました。

西砂教室 後藤 直子

対面とオンライン

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、日本語教室の活動ができない期間がありました。どうしたら再開できるか、講師の皆さんとオンライン会議で検討を重ね準備を進めました。

2022年6月、SkypeやZOOMを利用したオンライン講座にて再開。初の試みではありましたが、講師同士で通話テストやノウハウ共有をすることで、スムーズに運営ができていると思います。現在は、オンラインだけでなく感染対策を行った上で受講生の希望に合わせて対面も行っています。

オンライン講座は受講生および講師のPCやスマートフォン、そしてネットワーク環境に左右される面がありますが、受講生には抵抗がないようです。

対面とオンライン、それぞれ良い点があると思います。対面の場合、受講生の表情、身振り、手振りが読

み取りやすく、何がわからないのか、どこで困っているのかが講師側に伝わりやすいと感じます。一方、オンラインはネットワーク上にある様々な教材、写真、映像などを検索し、受講生と共有することが可能です。また、時間・場所を選ばずに受講生の都合に合わせて行うことができます。

今後も、受講生の希望に合わせて、対面とオンラインの良さをいかし講座を進めることができればと思います。

木曜教室 森 和子

英国の思い出

この前、イギリス、エリザベス女王崩御のニュースが流れました。もうかれこれ40～50年前のことですが、英国に滞在した事があり、いろいろな思い出



がよみがえってきました。私が住んでいたところは、ワットフォードというところで日本でいうと、東京から見て大宮あたりといったところです。30代のお医者様のご夫婦のお家でした。

英国滞在の思い出の一つを、書いてみます。確かイースターホリデーの時です。私は、スコットランドへ行くことにしました。当時お金がなく、ロンドンから夜行バスでグラスゴーへ向かい、4日間でハイランドを一周する事にしました。ハイランドは自然豊かなところですが、行くなら夏がおすすめです。

さて最終日のことです。ロンドンへ帰るバス（夜10時半発）を、コーヒーを飲みながら待っていました。何人かの人たちが、同じようにコーヒーラウンジでそれぞれのバスを待っていました。すると私の隣に、見知らぬ男の人がやってきて何やらスコティッシュ訛りの英語で話しかけてきました。私は疲れていた事もあり、あまり話したくありませんでした。そこで考えて英語がわからないふりをすることにして、何も話さずあいまいな表情をしていました。

するとその人は、私の斜め前に座っていた中年の女性の方に「なぜ彼女はなにも話さないんだ？」と聞きました。その女性の方も話したくなかったようで素っ気なく「言葉がわからないでしょ！」と答えました。その後、男の人は改めて私をじろじろ見て、席を離れていきました。そのあとです。その中年の女性の方が私に向かってこう言いました。「Did I help you?」（私、あなたを助けたかしら？）

思わず笑ってしまい、ありがとうと言って、その後は、バスを待っている間、楽しくおしゃべりして待ち時間を過ごしました。

到底私は、女優さんにはなれませんね。

## 世界ふれあい祭り

2022年11月12日(土)、13日(日)の2日間にわたって、「たちかわ楽市 2022」が国営昭和記念公園「みどりの文化ゾーンゆめひろば」で開催されました。コロナ禍の影響で2019年以来3年ぶりの実施となり、入場制限など感染対策が取られる中、待ちに待ったイベントに多数の市民が来場しました。



初日は抜ける様な青空で暖かいイベント日和となりました。TIFAはTMC(多文化共生センター)が主催する「第14回世界ふれあい祭り」に、2張りのブース用テントを借用して参加しました。過去の祭りではバザーと着物着付け体験会を行っていましたが、今回コロナ禍も考慮、パネル展示主体の参加となりました。

パネルは日本語教室の授業風景や様々なイベントの写真を展示し、他方ではPCによるスライドショーを視聴してもらいま



ました。その他に日本語テキストの展示や来場者へのTIFA会報と30周年記念誌の配布も行いました。TIFAの活動や教材、受講生に関する来場者からの質問を通して、会話が弾み新たな出会いがありました。

2日目は前日と違って変わって強い風が吹き、展示したパネルが倒れるなどして途中で中断せざるを得ない時間帯もありました。その点は残念ではありましたが、最後まで多くの方々と楽しい交流が図られ、TIFAのPR活動は一定の成果が得られました。

来場者数は2日間合計330名、当日の作業・対応などの活動に参加したボランティアは19名でした。

事前準備を始めとして、ブースの設営、片付けなど力仕事もありましたが、一致協力して無事に終えることができました。お疲れ様でした。



## 土曜教室 スピーチ会



2022年11月19日(土)、柴崎学習館においてスピーチ会が開催されました。今回は25名の受講生が参加、3部屋に分かれての活動となりました。

スピーチのひとつことひとつに「伝えたい」という思いのこもったスピーチばかりで、「言葉は誰かに何かを伝えるものである」という言葉の本来の意味を思い出させてくれました。

質問タイムでの情報交換は、お互いの理解を深め、笑い声いっぱいの楽しい交流のひとつでした。終わりに参加賞のカップラーメンが手渡され、ラーメンやカレー談議に花を咲かせました。

(発表テーマ⇒次ページへ)



## 〈みんなの発表テーマ〉

「日本と中国の違い」「趣味  
編み物」「弓道の魅力」「あ  
なたの夢は何ですか」「登  
山」「将来への決意」「日本  
の生活」「夢 旅をすること」「私の日本語」「第二の故郷」「自己紹介」「到  
到と茶々」「私の趣味」「私の留学生活」「日本の面  
白いこと」「ベトナムの正月」「日本語とタミル語は  
似ている」「北海道登山」「日本留学の理由」「奈良  
の鹿」「四季」「日本の中国の味」「ごみの分別」



## 土曜教室 ボランティア研修会



2022年10月22日(土)、柴崎学習館第一教室  
において今年度第2回土曜教室研修会が開催されまし  
た。今回は帝京大学の岡先生をお迎えし、わかりやす  
い語り口で講義していただき、出席した18名のボラ  
ンティアは有意義な時間を過ごすことができました。

テーマ:「日本語学習の教材について」  
講師:岡葉子先生(帝京大学 外国語学部講師)

まず初級教材を選ぶヒントとして、3つの教材(み  
んなの日本語、げんき、文化初級)を比較するグル  
ープワークを行いました。続いて岡先生から初級、中級、  
ゼロ初級の教材選びのポイントとおすすめ教材の紹介  
があり、7つのWebサイトの特徴と選び方の説明も  
ありました。

次に、学習者に多い誤用について、アクセントとイ  
ントネーションの大切さ、時制の問題、母語干渉によ  
る誤用、日本語特有の表現などの話がありました。指  
導の留意点として、誤用を指摘した方がいい場合とそ  
うでない場合についての考え方が示されました。

また、クラス授業の運営方法や教案作成のポイント、  
JLPT についての話がありました。教師用の手引き、  
ビジネスのための日本語についても言及され、日本語  
教育の教材について網羅的に指導していただきました。

最後に、質疑応答が活発に交わされ、ボランティア  
の日頃の疑問解決にとって大きな助力となりました。

## 総務省 外国人被災者支援研修会



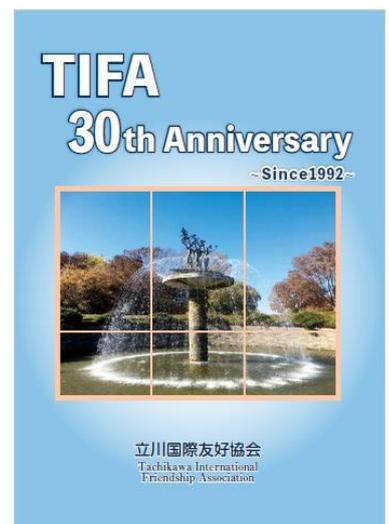
2022年9月9日(金)、自治大学講堂に於いて  
「総務省 災害時外国人支援情報 コーディネーター  
養成研修」が開催されました。TIFA の受講生及びそ  
のOBOG19名が、外国人避難者役ボランティアとし  
て参加しました。コーディネーターの問いかけに避難  
者役として応答を行う役割を担いました。

今回の研修会では、災害多言語支援センターの語学  
ボランティアがリモートで通訳として参加し、タブ  
レットのアプリを活用した支援訓練が特徴的でした。

研修の締め括りとして、外国人避難者から見た訓練  
に対する感想の発表タイムがあり、数多くの意見が出  
されました。次回以降のコーディネーター研修の改  
善・向上に大いに資するものでした。

## 30周年記念誌発行

TIFA は、創立30周年を節目として、会員の皆様  
の協力のもとに2022年11月1日付で30周年記念  
誌を発行しました。TIFA の歩みや活動の紹介、会員  
の寄稿などが包括的  
に記載されていま  
す。また特集ペー  
ジや受講生のペー  
ジなど特色ある構  
成になっています。  
さらにQRコードを  
活用してページの  
記事を補充するな  
ど、内容の充実が  
図られています。  
ホームページにも  
全ページが掲載さ  
れていますので、  
是非ご覧ください。



## ホームページ QRコード

立川国際友好協会



西砂教室

